

質 問 順 位	10	質 問 者	小 野 保 之 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 防災対策	1. 水害時の避難場所について	1. 東日本そして西日本と豪雨による大きな災害があり、現在も復旧作業が急がれています。災害によりお亡くなりになった方、住宅全壊や今だに自宅に戻れない人など、多くの被災された方々に改めて、ご冥福とお見舞いを申し上げます。 近年の大雨については、気象庁でも予報の難しさを述べています。滝川市でも石狩川滝川地区水害タイムライン検討会が平成27年11月に発足し、これまで9回開会されています。また、7月に岩見沢市で北海道地域防災マスターの講習会等があり、町内会役員で参加し3名が地域防災マスターの認定を受けました。町内会など地域での取り組みが活発になり、防災に対しての言葉が市民の間でもよく聞かれるようになりました。滝川市ではまだ大きな災害はありませんが、市の広報では災害時における避難場所の指定について、地震時の避難場所、大規模な水害の避難場所が掲載されています。その中で泉町、扇町、西滝川の避難場所が滝川第二小学校になっています。石狩川の上流の氾濫やラウネ川の内水氾濫が発生すると、この3地区は低地のため最初に浸水被害等になると思います。 他の地区でも避難場所の遠い地区があり、高齢者等の避難には適さないと思いますが検討されているのか、伺います。		
		2. 8月9日に一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して、災害時に自動起動の緊急告知FMラジオが町連協加入の146町内会に貸与されました。これは、市、町連協とFMなかそらの連携によるものです。災害の各情報が提供され受信したときの避難行動が率先してでき、住民の自主的な対応には必要です。このラジオは、FMG s k y 専用ですが、行政として情報発信の改善の一つでもあると思います。各町内会は、高齢化による災害時の連絡網の確立が一番の課題となっており、独居世帯や歩行が困難な人、自宅療養の人やすぐに行動ができない人が数多くいます。音声での周知になりますが、何よりもこのような人達への貸与も必要ではないかと考えます。先日、停電があったときもこのラジオのLEDライトの点灯で十分な灯りがとれ、慌てなくても済みました。 滝川市全体での必要数量は計り得ませんが、今後配付貸与の検討も必要と考えますがお考えを伺います。		

質問順位	10	質問者	小野保之議員		
件名		項目	要旨	メ	モ
2. 教育行政		1. 石狩川河川敷パークゴルフ場について	1. パークゴルフ場での石狩川の増水、氾濫における対応については、初動活動と平素の準備が極めて重要と考えます。今回の7月3日時点では既に大雨警報が発令されており、所管においては、常時巡回パトロールを行っていましたが、気象情報だけでは判断がつかず、やはり目視による判断が最優先と考えていたと思われ、トレーラハウスや設備等の移動作業が遅れたことが大きな原因と思います。当時の状況からの確な判断や作業対応が遅れたことに対する見解を伺います。また、大雨となれば、その都度対応が求められますが、対応策として考えられるものはあるのか、あわせて伺います。		
			2. オープンしてから、2度の増水被害に遭い、復旧作業など運営面にも大きく影響していると思います。今回再開してから連合町内会の大会で利用しましたが、市内外の利用者から、トイレや飲料機器の不備などが指摘されました。また、大会の延期や中止による利用者数の減少、事業収入の落ち込みで運営が厳しい状況になると思いますが、現状と今後の取り組みについて伺います。		
			3. 市長公約の1つとして、平成29年7月1日にパークフィールド72がオープンしました。約1億円を投じたパークゴルフ場です。完成後は市費投入は考えないとも述べております。しかし、自然災害による被害が実際起こっているのが現状です。また、昨年も同様の被害があり運営が厳しい状況です。そもそも市民ゴルフ場として、造成した時点においても、大雨による氾濫は想定されていたと思います。 このような現況で指定管理者の公募を予定していますが、このパークゴルフ場を果たして引き受ける業者がいるのか疑問に思うところです。 そこで、現状の72ホールの規模を縮小するなどの対応が必要ではないかと思います。市長公約となれば大変重いものと認識します。 市長として、このパークゴルフ場に対する考えを伺います。		